

2025年12月期 第3四半期 決算説明

サイオス株式会社
(東証スタンダード市場:3744)
2025年11月6日



目次

1. 連結業績概況
2. セグメント別第3四半期業績
3. 通期業績予想
4. 株主優待制度新設について
5. Appendix

1. 連結業績概況

2025年12月期 第3四半期 業績（連結）



(単位：百万円)	2024年12月期 第3四半期実績	2025年12月期 第3四半期実績	差額	前年同期比
売上高	15,717	13,605	△2,112	△13.4%
売上総利益	3,945	3,887	△58	△1.5%
営業利益	△86	296	+383	—
経常利益	41	363	+321	772.5%
親会社株主に帰属 する中間純利益	△12	235	+248	—
EBITDA※	△47	328	+376	—
ROIC※(年率換算)	△6.1%	14.7%	—	—

※EBITDA・・・営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

※ROIC・・・税引後営業利益÷(株主資本＋有利子負債)

貸借対照表（連結）

- 利益剰余金の増加(+235百万円)により自己資本比率が前期末比+4.9%上昇(22.6%)
- 長期借入金の完済による有利子負債の減少（残高はリース債務50百万円のみ）

2024年12月31日

流動資産 7,175 (内現預金 3,677)	負債 6,547 (内有利子 負債102)
固定資産172	純資産合計 1,537
投資その他737	
資産合計 8,085	負債純資産合計 8,085

2025年9月30日

流動資産 6,241 (内現預金 3,164)	負債 5,576 (内有利子 負債50)
固定資産356	純資産合計 1,752
投資その他731	
資産合計 7,329	負債純資産合計 7,329

(単位：百万円)

2. セグメント別第3四半期業績

2-1. セグメント別第3四半期業績

2-2. 全社戦略

2-3. プロダクト&サービス

2-4. コンサルティング&インテグレーション

2-5. ソフトウェアセールス&ソリューション

2-1. セグメント別第3四半期実績

- 売上高：コンサルティング＆インテグレーションが増収、その他のセグメントは減収となった
- 営業利益：全セグメントで増益、金融機関向け経営支援システム事業譲渡等により全社費用が削減され、調整額も減少した結果、連結合計でも増益となった

(単位：百万円)		2024年度 第3四半期実績	2025年度 第3四半期実績	前年同期比
プロダクト＆サービス	売上高	4,563	4,224	△7.4%
	営業利益	253	481	+89.8%
コンサルティング＆ インテグレーション	売上高	2,276	2,647	+16.3%
	営業利益	254	308	+20.9%
ソフトウェアセールス＆ ソリューション	売上高	8,884	6,742	△24.1%
	営業利益	78	90	+14.4%
調整（全社費用他※）	売上高	△7	△8	—
	営業利益	△673	△582	—
連結合計	売上高	15,717	13,605	△13.4%
	営業利益	△86	296	—

※全社費用は、主にセグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります

2-2. 全社戦略

企業理念の推進

世界中の人々のために、不可能を可能に。

中長期的企業価値向上 & 持続的な成長に向けた戦略

- 1. SaaS※・サブスク事業への投資**
- 2. 生成AI※による事業強化**
- 3. API※ソリューション事業の拡大**

2-3. プロダクト&サービス

プロダクト&サービス | 主要な製品・サービス



システム障害対策ソフトウェア



安心を、簡単に

システム障害を監視し、稼動システムに障害が生じた場合に待機システムに自動的に切り替えを行うことで、ビジネス損失を最小限にするHAクラスター※ソフトウェアです

文書管理アプリケーション



複合機での文書管理

複合機での「スキャン」の手間を減らし便利に文書をデジタル化できるスキャンアプリケーションです

ワークフロー（申請・承認）システム



日々の仕事を安心快適に(グルージェントフロー)

申請・承認業務や社内ワークフローを電子化して効率化
AIで申請者・承認者の業務をサポートし、業務のスピードアップに貢献します

ID管理システム



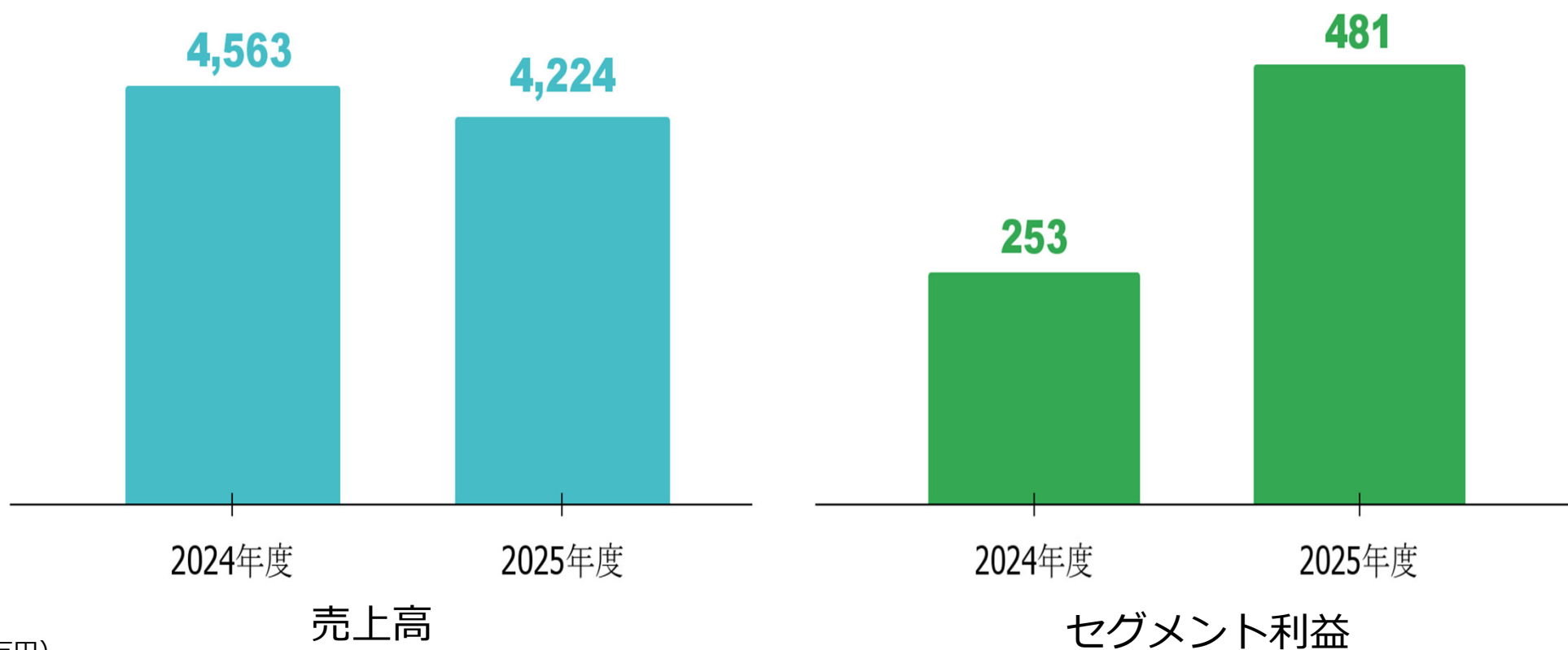
安全、便利なID管理(グルージェントゲート)

システムへのログインを安全・簡単にし、IDを一元管理することで業務効率化につなげます

プロダクト&サービス | 第3四半期業績



売上高は金融機関向け経営支援システム販売事業の株式譲渡により前期比△7.4%であったがSaaS・サブスク事業がユーザー数を順調に伸ばした事等により前期比+89.8%と増益となった



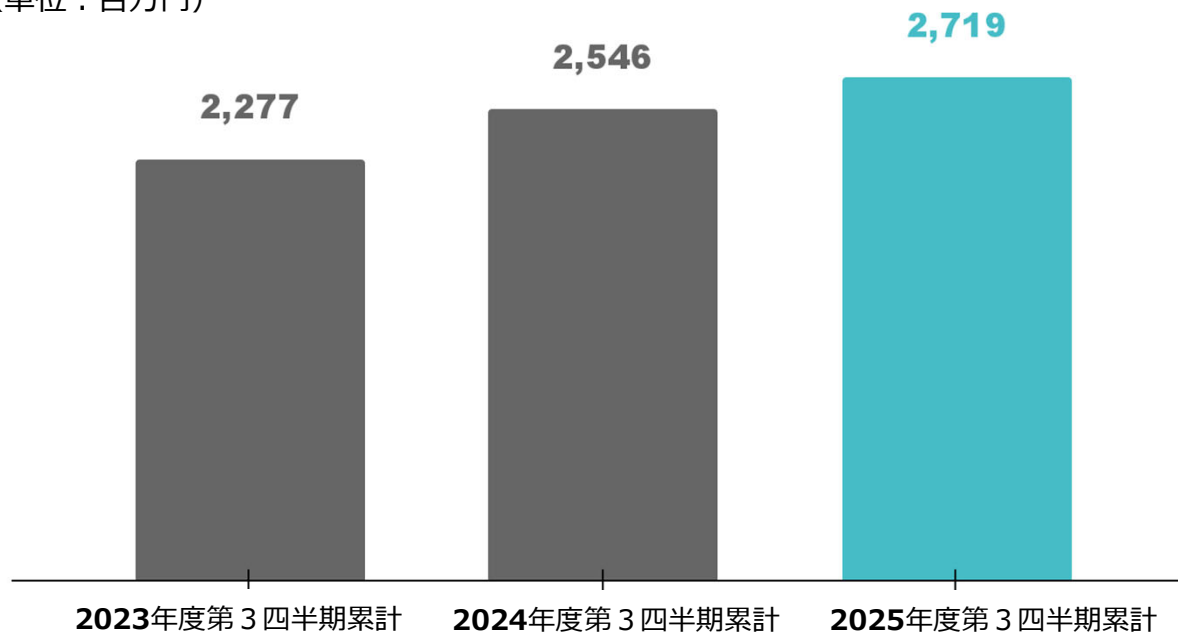
(単位：百万円)

セグメント内のストック売上高推移

SaaS・サブスク事業が順調に伸長し、セグメント内のストック売上高※は前期比増加
ストック売上高比率は2025年度第3四半期累計で64.4%

※ストック売上高：サブスクリプション・保守/サポートを中心とした継続的・安定的な売上のこと

(単位：百万円)



プロダクト&サービス内における
ストック売上高比率 64.4%

注)2024年度に事業譲渡した金融機関向け経営支援システム販売事業を除く

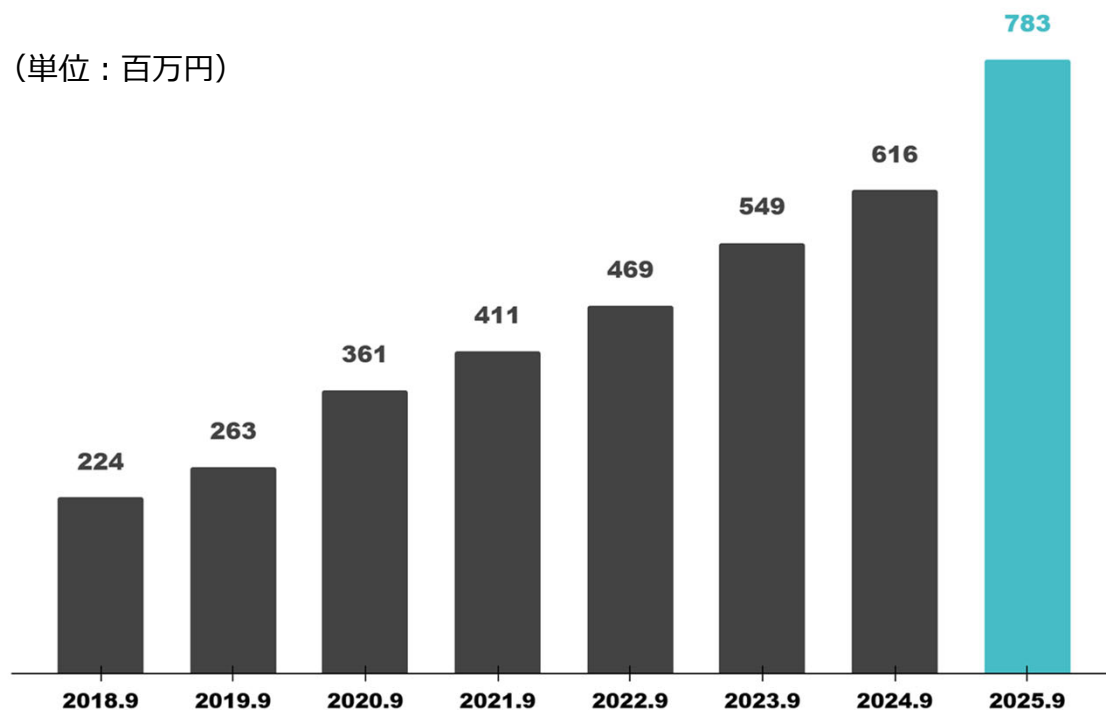
グルージェントフロー・グルージェントゲート実績 SIOS

グルージェントシリーズのARRは順調に推移、特にグルージェントフローが大きく伸長

- グルージェントフロー：生成AI機能が好評でARRが伸長
- グルージェントゲート：カスタマーサクセス強化による活用定着や契約継続・拡大提案が貢献

【グルージェントフロー及びグルージェントゲートの合計ARR※推移】

(単位：百万円)



合計ARR 前年伸長率 **+27.2%**

 Gluegent Flow  Gluegent Gate

(グルージェントフロー) (グルージェントゲート)

前年伸長率 **+57.6%**

前年伸長率 **+13.1%**

※ARR (Annual Recurring Revenue) = 月末におけるMRR (サブスクリプション契約等に基づき毎月繰り返し得られる収益の月間合計) × 12ヶ月

© SIOS Corp. All rights Reserved.

グルージェントフロー 生成AI機能



- 一般ユーザー向け生成AI機能
 - ◆ タスク一覧表示画面で対象タスクの要約文を表示する機能
 - ◆ 申請したい内容によって必要なワークフローを簡単に探せる機能
- 管理者向け生成AI機能
 - ◆ コード作成を省略することでエンジニアの負荷を軽減する機能

<タスク要約機能>

物 品 購 入 申 請			
申請番号 20250210-00001			
申請日	2025/02/10	社員番号	490409
所属	クラウド開発部	氏名	松本明丈
種別	ハード		
商品名	Hypermicro PRS-999GL-DNHR-LCC		
購入先	納品		
購入理由	AIサービスの研究開発において、最先端の技術を効果的に取り入れ、競争力を高めるためには、開発および検証の各フェーズで十分な計算能力が求められます。特に、市場の動向に先んじてサービスを提供し続けるためには、必要に応じて必要な計算リソースを確保できる環境が不可欠です。そのため、計算速度が十分以上に確保された高性能な機器が提供される計算リソースを、制約なく柔軟に活用できる仕組みを整備することが重要となります。 さらに、ハードウェア技術の進化は非常に速く、新しく高度な機器やハードウェアが短いサイクルで次々とリリースされています。こうした状況下では、最新の計算機資源をいち早く取り入れることが競争優位の維持に直結します。従来の購入モデルでは短期間で陳腐化するリスクが高いため、これらの機器をリース契約とし、短いスパンでより新しい機器への入れ替えが容易にできるようにしておくべきです。これにより、常に最新のハードウェア環境を維持しつつ、研究開発を加速させることが可能になります。		
単価	300,000円	数量	3
合計金額		900,000円	
請求書			
請求書(ドライブ)			

すべてを読まなくても、
要点がわかる

物品購入申請（電子帳簿保存）[20250210-00001]

要約

社員番号490409の松本明丈氏から、クラウド開発部におけるAIサービスの研究開発を目的とした、Hypermicro PRS-999GL-DNHR-LCCの購入申請が提出されました。購入金額は90万円で、3台を鯖屋からリース契約で取得する予定です。購入理由は、最新の計算機資源をいち早く取り入れることで、競争優位性を維持し、研究開発を加速させるためです。

閉じる

開く



利用ユーザーの声

- ・各申請データの確認の手間が省くことができ時短に繋がった。
- ・月末など申請書類が集中する際の優先度判別や、承認件数が多い部門長以上に特に有効な機能だと思います。

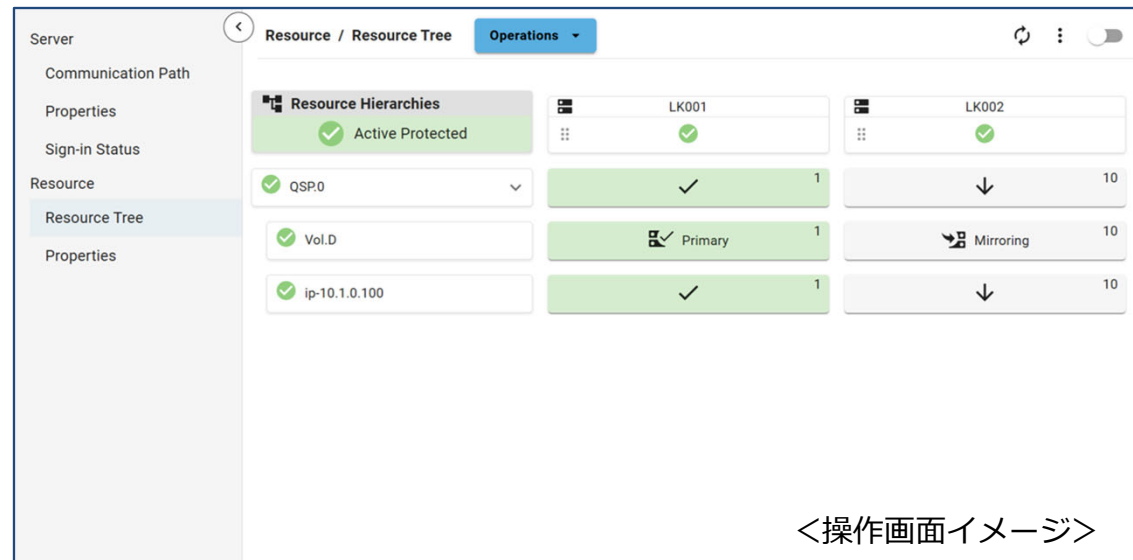
LifeKeeper v10提供開始を発表



「障害対策」というミスの許されない業務において「分かりやすさ」「使いやすさ」を追及したソフトウェアで安定的なシステム運用の提供

<主な特長>

1. ウェブベースで直感的な操作画面
2. 多様化するユーザーニーズに対応する製品体系
 - ユーザー環境（OS※や契約形態、システム構成）に応じた柔軟な選択ができる製品ラインナップに再構築
 - 特にOSにより分かれていた操作画面や機能アップデート時期を統一し、複数OS併用時の運用管理の利便性を向上



※OS : Operating Systemの略でコンピューターを動かすための基本となるソフトウェアのこと。LifeKeeperv10はLinux版・Windows版で操作性や機能アップデート時期を同一にしています

2-4. コンサルティング&インテグレーション

コンサルティング&インテグレーション | 主要なサービス SIOS

金融領域



Financial & Unique SI Service Line

ファイナンシャル&ユニークサービスライン

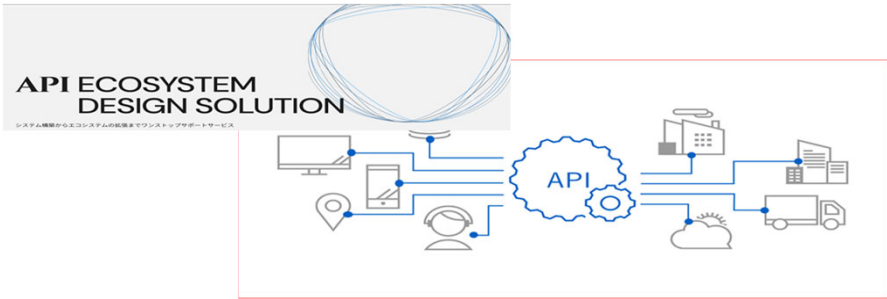
上場企業、金融機関に選ばれ続ける革新的なシステムインテグレータ

20年間、上場企業や大手金融機関を中心にシステムを提供し続けてきた私たちは、お客様の高度な信頼に応える堅実な確実性と革新的な技術があります。

堅実な提案力と革新的な技術

20年間以上にわたり、上場企業や大手金融機関を中心にシステムを提供し続けるシステムインテグレーション※サービス。お客様の新事業やサービス構想を形にするシステム開発を可能にします

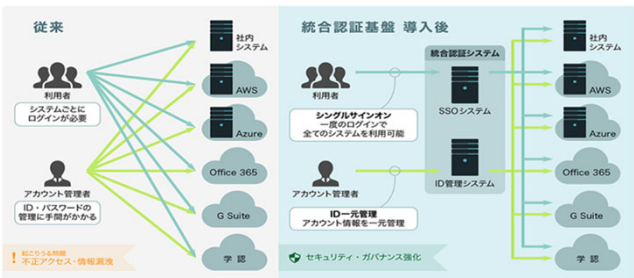
API領域



ワンストップでAPIプロジェクトを支援

APIをコアにビジネスモデルの検討からシステム構築、エコシステムの拡張に至るワンストップサポートサービス

文教領域



教育機関向け認証ソリューション

多くの学生が毎年入れ替わり、学内サービス利用時のセキュリティ強化や利便性の向上が年々求められる教育現場での認証最前線において100を超える大学・教育機関での導入実績を誇ります

生成AI導入支援

SIOS NEXT TECH SOLUTIONS



社内ナレッジ活用
AIチャット
導入サービス



Azure OpenAI Service
RAG
スターターパック



RAG
ハンズオントレーニング

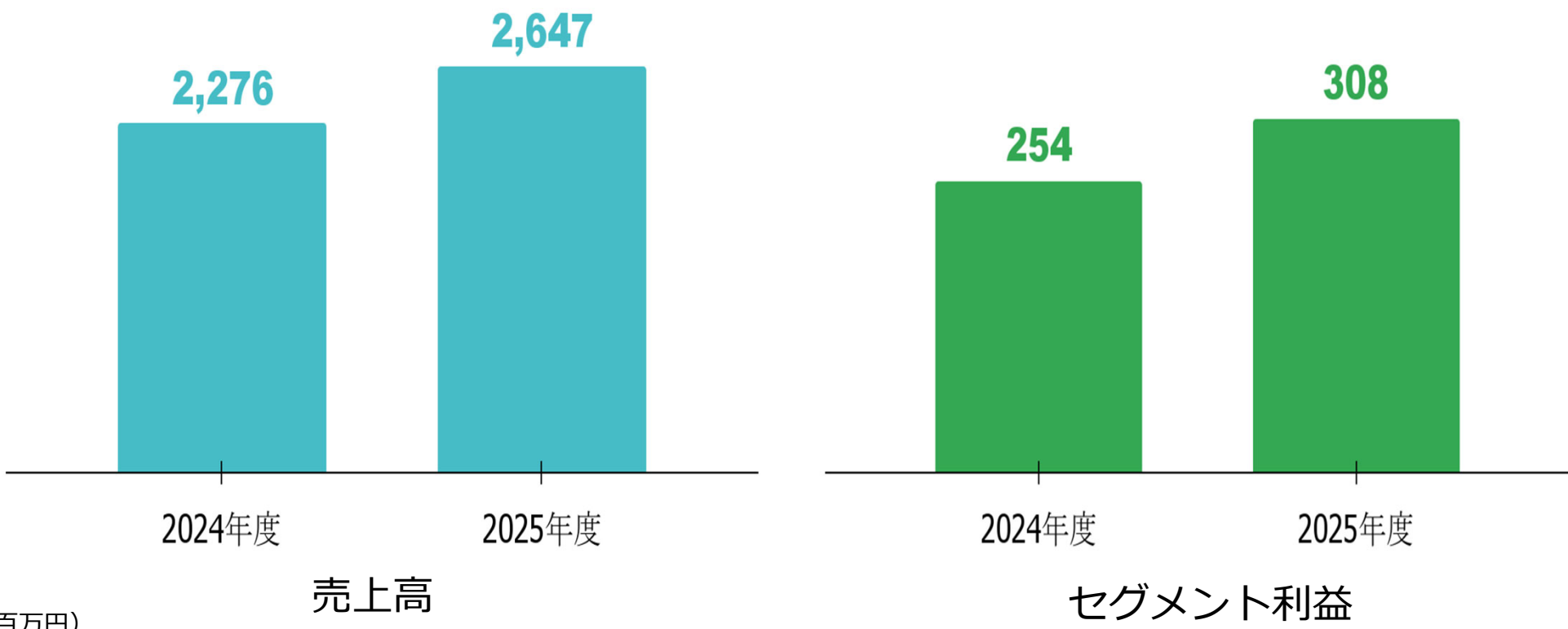


エンタープライズでの生成AI導入を支援

サイオスネクストテックソリューションとしてお客様のビジネスニーズにあわせたAI戦略の策定、アプリケーション開発を効率的にサポートします

コンサルティング&インテグレーション | 第3四半期業績 SIOS

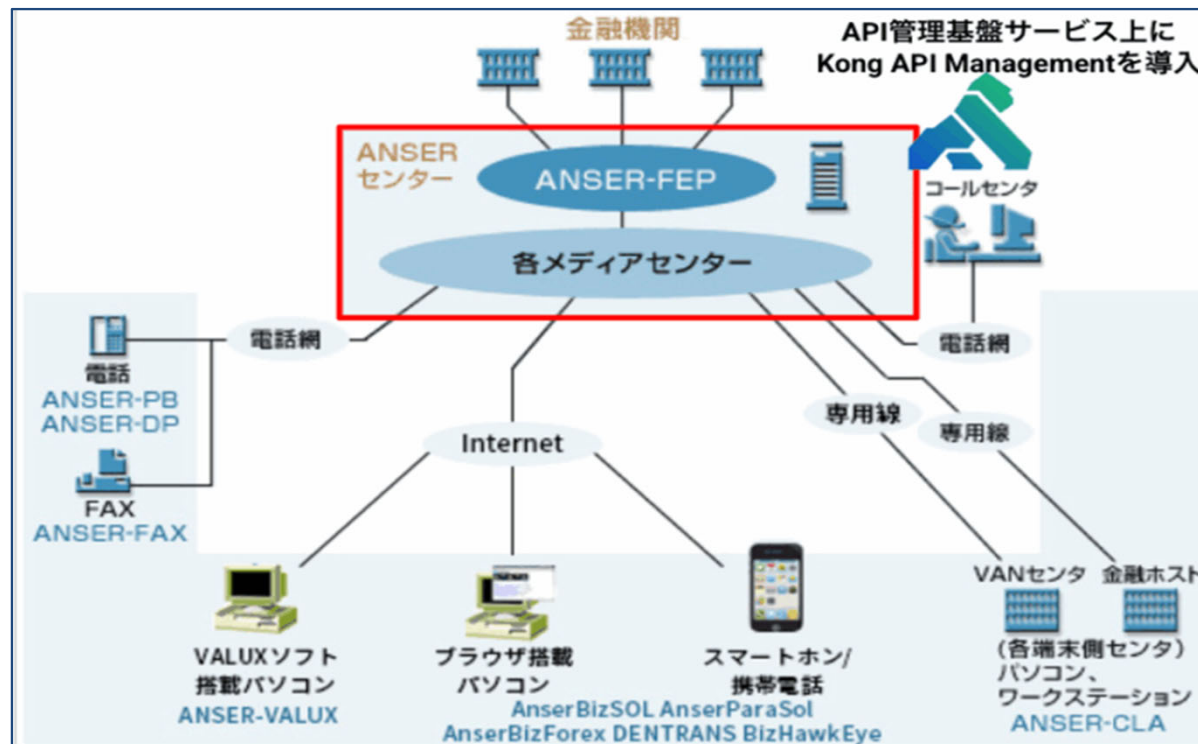
金融領域及び文教領域のシステム開発・構築支援で案件獲得が順調に推移し増収増益となった
(売上高：前期比+16.3%、セグメント利益：前期比+20.9%)



(単位：百万円)

APIソリューション導入事例

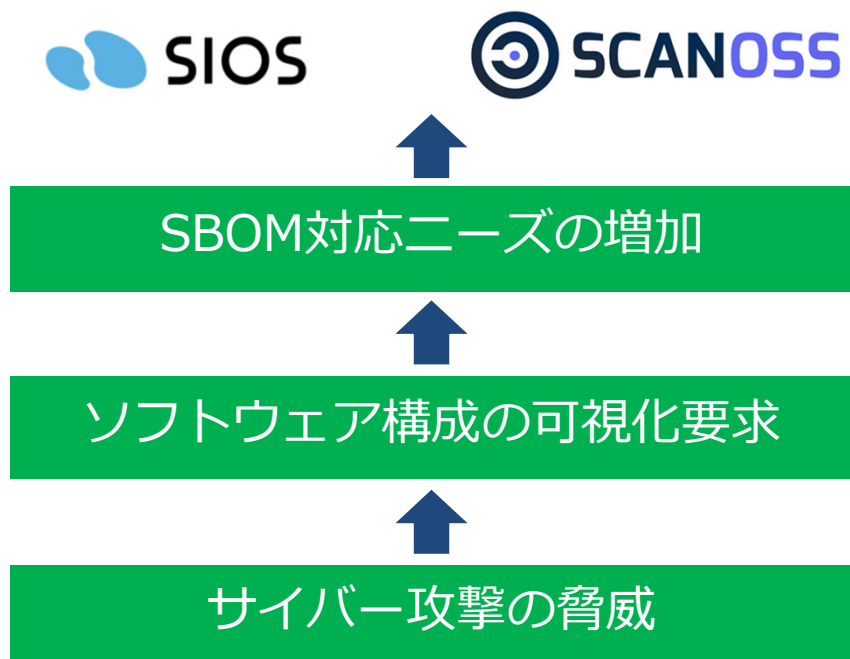
- 当社パートナーであるKong株式会社(以下、Kong)のAPI管理プラットフォームが、株式会社NTTデータ(以下、NTTデータ)の金融業事務自動化サービス「ANSER」に採用されたことが発表されました
- サイオステクノロジーはKongとともに、このたびのNTTデータへのKong製品採用において、選定から導入までを一貫して支援しました (2025年11月6日発表)



SBOM : ソフトウェア部品構成表サービスの拡充 SIOS

オープンソースSBOMソフトウェアを開発するSCAN OPEN SOURCE SOLUTIONS, S.L.(本社 : スペインマドリード州)との協業を開始

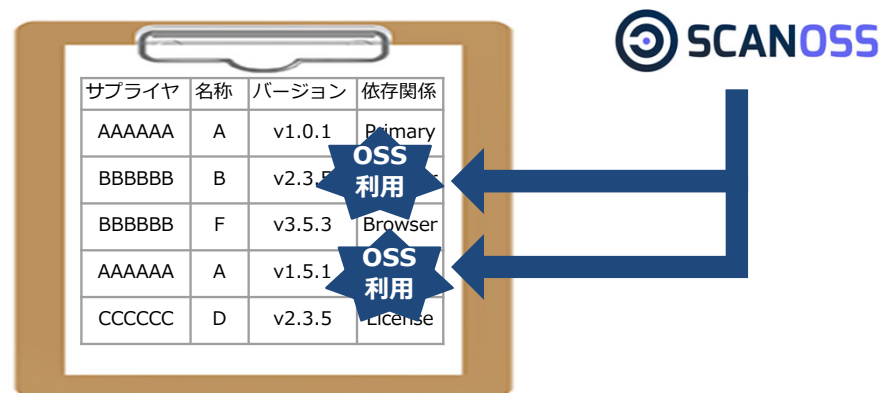
<協業の背景>



<SCAN OSS⇒ソフトウェアを構成するOSSを可視化>

SBOM : ソフトウェア部品構成表(Software Bill of Materials)

開発場面で広く使われるOSS※を特定し、SBOMの作成・更新までを自動化することでOSSの適切な利用をサポート



OSS利用の検知

⇒脆弱性・著作権管理状況等の可視化

※OSS : Open Source Softwareの略。ソースコードが公開され、誰でも無料で利用、改変、再配布が許可されているソフトウェアのこと

© SIOS Corp. All rights Reserved.

生成AI導入支援ソリューション



社内ナレッジ活用

AIチャット導入サービス

業務で本格活用可能な社内ナレッジ活用AIチャットの導入と、必要なトレーニングを提供いたします

Azure OpenAI Service

RAGスターターパック

すぐに社内データを取り込んで回答精度の定量評価&改善サイクルを回していけるRAG※ソリューションです
社内データをはじめ、あらゆるナレッジをAIに与えることができます

RAGハンズオン※トレーニング

初級ではAzure OpenAI Serviceの基礎を学び、上級ではサーバーレステクノロジーを用いた本番環境対応のシステム構築に取り組むハンズオンです

Azure OpenAI Service

技術コンサルティング

マイクロソフトが提供する生成AIサービス「Azure OpenAI Service」の導入や活用を支援するコンサルティングサービスです

2-5. ソフトウェアセールス&ソリューション

ソフトウェアセールス&ソリューション | 主要な提携先 SIOS

レッドハット株式会社



パートナーとして20年以上の実績

Red Hat Enterprise Linux(RHEL)をはじめとするレッドハット製品の販売を通じて、高い品質と信頼性を持つ顧客の情報システム構築に貢献します

Elasticsearch株式会社

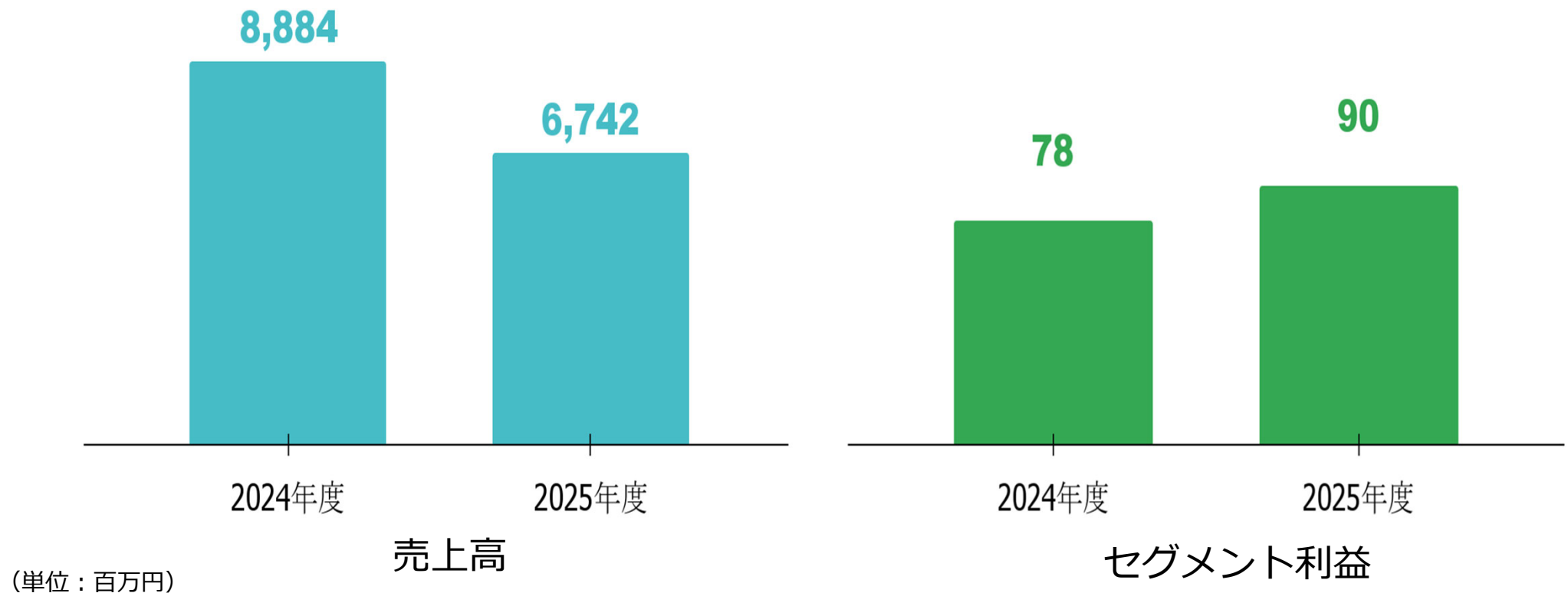


国内初のディストリビューター

戦略的パートナーとして「サーチ（高速検索）」「セキュリティ（セキュリティ分析）」「オブザーバビリティ（リアルタイム監視・分析）」の3つのソリューションについて、共同で日本国内における展開を強化します

ソフトウェアセールス&ソリューション | 第3四半期業績 SIOS

売上高は前年度に計上したRed Hat, Inc.関連商品の大型案件の売上が無くなったことにより前期比△24.1%となったが、新規商材（Elastic）の売上伸長が寄与し、前期比+14.4%の増益となった



Elasticとの提携による生成AI関連案件の創出 SIOS

Elastic技術を使ったRAG導入で顧客の生成AI活用を支援

RAG導入を成功に導く 3つのフェーズ

導入プラン作成支援

導入目的・ToBe
ヒアリング
データソース把握
セキュリティ
コンプライアンス要件
全体設計
スケジュール策定支援

PoC※支援

PoC環境構築
検証評価支援
RAG評価支援
LLM/GAI接続支援

導入支援

本番環境設計支援
本番環境構築支援
運用支援

3. 通期業績予想

2025年12月期 業績予想



第3四半期連結会計期間：当初予想を上回り堅調に推移（事業の成長・販管費及び一般管理費の抑制）

第4四半期連結会計期間：今後の経済・金融情勢等が不透明な状況のため保守的に据え置き

通期全体：第3四半期連結会計期間の増益分を反映した通期業績予想

(単位：百万円)	2025年12月期 (2025年8月公表)	2025年12月期 業績予想(今回修正)	増減額
売上高	19,000	19,000	—
営業利益	220	320	+100
経常利益	290	400	+110
親会社株主に帰属する 当期純利益	200	270	+70
EBITDA	272	372	+100
ROIC	8.9%	11.7%	—
1株当たり配当金	—	—	—

※EBITDA・・・営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

※ROIC・・・税引後営業利益÷(株主資本＋有利子負債)

4. 株主優待制度新設について

株主優待制度新設のお知らせ



株主の皆様の日頃よりのご支援に対する感謝を表すとともに、当社株式への投資、中長期的な保有をしていただける株主様の増加を図ることを目的として、株主優待の導入を決定

基準日	保有株式数	優待内容
12月末日	200 株以上	2,000円相当のカタログギフト（食品）



5 . Appendix

世界中の人々のために、不可能を可能に。

**イノベーションを通じて人々の課題を解決し、
より良い社会の実現に貢献します**

ミッション実現の推進力（Driving Force） SIOS



ピープル

社会に変革を巻き起こす、
魅力あふれるチームを創出



テクノロジー

テクノロジーを基軸に
イノベーションの創出を推進



カルチャー

大勢に流されず、
人のやらないことに果敢に挑戦

用語集



頁	用語	説明
10	SaaS	Software as a Serviceの略。ソフトウェアをクラウドサービスとして提供すること
10	生成AI	Generative Artificial Intelligenceの略。あらかじめ学習したデータから、新たなデータやコンテンツを生成する能力を持つAIシステム
10	API	Application Programming Interfaceの略。異なるソフトウェアやアプリケーション間で連携させ、効率的に機能やデータを共有するための仕組み
12	HAクラスター	高可用性クラスター（複数のサーバーを連携させて、一部が停止してもシステムを止めることなく、サービスを継続させる仕組み）
19	システムインテグレーション	顧客の課題解決のため、情報システムの企画、設計、開発、導入、運用、保守までを一貫して請け負うサービス
23	RAG	Retrieval-Augmented Generationの略。検索拡張生成。大量の知識を持ったAIモデルに企業独自の情報を外部知識として活用することができる仕組み
23	ハンズオン	座学だけではなく実際に自分で操作や作業をして体験しながら学ぶ学習スタイルのこと
27	PoC	Proof of Conceptの略。新しいアイデア製品等が実現可能であることを証明するためのプロセス

サイオス株式会社について



SIOS is Innovative Open Solutions

本社 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル

資本金 1,481百万円

設立 1997年5月23日

市場 東証スタンダード（証券コード：3744）

社員数 連結481名（2024年12月31日現在）

**主な
連結
子会社** サイオステクノロジー（株）
SIOS Technology Corp. <米国>

サイオスは、Linuxに代表されるオープンソースソフトウェアを活用したシステムインテグレーションを原点とし、ソフトウェア製品及びSaaSを提供するテクノロジー企業群を子会社とする持株会社です。

「世界中の人々のために、不可能を可能に。」をグループミッションに、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献してまいります。

詳細情報は、<https://www.sios.com> をご覧ください。

ご留意事項



業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。

但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

本件に関するお問い合わせ

サイオス株式会社 IR担当

Tel : 03-6401-5125 (直通)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

https://mk.sios.com/SIOS_Inquiry.html